“農地・水・環境保全”
水土里のネットワーク通信

＜ 第 8 号 ＞
２００８．６．１発行
島根県農地･水･環境保全協議会

ため池の維持保全策を語り合う！

５月２７日農林水産省防災課印藤調整官をはじめ、島根県、県内市町村、土地改良区、農村災害専門技術者総勢１１０名が雲南市に集合し、ため池等の現地視察と意見交換を行いました。

中山間地域における農業用ため池の維持保全、長寿命化をテーマに、午前中は、雲南市及び奥出雲町のため池３ヶ所と頭首工の現状を現地視察し、午後は雲南市木次町において現状報告、課題発表とともにその方策について意見交換しました。

県内には、約 5,200 ヶ所のため池があります。そのうち約２／３は貯水量 1,000 ㎥未満のため池です。また、老朽化も進んでおり、県の集計では約半数が改修を必要とすることになっています。

しかし、最近はあまりため池等の整備が進んでおりません。

改修が進まない問題点として、農産物価格の低迷等農業を取り巻く情勢が大変厳しい中で、過疎、高齢化、担い手不足等も加味され、ため池の整備に係る地元負担金が捻出出来ないことがあります。

現在のため池等整備の補助事業制度は、防災事業の観点から安全性を確保出来るよう設計基準が設けられており、事業費が高くなりがちであります。

離農による耕作放棄地や農地の担い手への集積政策も進み、ため池の利用農家が減少する中で、１００年、２００年と農業用水を供給し、豊かな生態系を育んできた、ため池を地域でどう守っていくのか、大きな課題であります。

食料を生産するには、大量の水が必要です。小麦１kg では 1,150 ㎥、米１kg では 2,656 ㎥、穀物平均では１kg 約 1,000 倍の水が必要とされています。世界では砂漠化や水源の枯渇など「水」が食糧生産の最大の制約要因となりつつあります。豊かな自然、豊かな水を享受できる日本であり続ける為に、身近にある小さなため池にも地域ぐるみで目を向けていくことが求められています。

Q&Aコーナー

Q　共同活動のとき、お茶やジュース類を自動販売機で購入した場合、領収書に代わる証拠書類として何を保管すれば良いですか。

Answer
活動組織の代表者等が購入を証明する証明書（購入日、購入した品物、数量、活動日等を記入）を作成し、代表者等の印またはサインをしてください。

Q　病害虫の発生を抑えるために、農用地や道水路と接する農村公園、公民館、県・国が管理する道路・河川の法面等の草刈りを共同活動で行い、交付金を使うことができますか。

Answer
「畦畦・農用地法面等の草刈り」等の一環として、病害虫発生の防止や農村景観の一体的保全のため必要な場合は、農用地及び道水路と接する箇所にあっては、草刈りを共同活動で行うことができます。
また、経費の支払いについては交付金を使うこともできます。

活動事例紹介

去る 5 月 9 日に邑智郡美郷町「高畑環境ファーム」で、邑智小学校 4 年生（26 名）とともに田んぼの生き物調査が実施されました。

当日は、6 グループに分かれ、慣行栽培圃場と先進的営農（化学肥料・化学合成農薬を 5 割減）圃場の畦畔を歩いてカエルの数を調べた後、水田の中に入ってカエルを捕獲して種類の確認と水田の土を採取し土中生物の確認が行われました。

児童たちは、カエルの発見や水田の感触に歓声を上げながら取り組んでいました。

この調査は、今後も継続的に実施（今回を含め4回）されることになっており、田んぼの生き物の種類、数の推移を確認し自然の営みと農業（米づくり）の関わりを実感するとともに、ふるさとの自然への理解を深めていくこととしています。

カエルの調査

土中生物の観察

今後の調査予定

《第 2 回》
5 月 30 日
《第 3 回》
6 月 25 日
《第 4 回》
8 月 4 日

日本の棚田百選「山王寺の棚田」（雲南市大東町）で
復　田　作　業

「理論より実践」と肝に命じ、本対策に関係する県職員、市職員、水土里ネット職員２３名と地域の方々と総勢４０名で５月２５日棚田での復田作業を体験しました。

～　とある参加者コメント　～

あいにくの小雨模様の中での開始であった。休耕田の草刈り、復田作業、代掻きと作業は大変であったが、作業を終えて皆さんとのひと時に、疲れも癒され、いい汗をかいたことを実感した。中山間地の耕作放棄地が増える状況の中、将来に向かって希望と意欲を持って取り組んでおられる地元の皆さんの元気と、棚田を次代につなげてゆくこのような取り組みの大切さを思うところである。

私の実家には田・畑が無かった為、農作業には殆んど接することありませんでした。当日の復田作業で、慣れないながらも代掻き作業をやってみました。思った以上に鍬を使えず、又足元を取られながらも、地元の方々に教えて頂きながらでしたが、無事に作業を終えることが出来ました。山王寺の棚田は、棚田百選にも選ばれたこともあって、展望台からの眺めは格別なものでありましたが、これも地元の方々と汗の結晶であると強く感じました。本日は、大変貴重な体験をさせて頂き有難うございました。

ぼちぼちやりましょう！！

こらぁ、根がスゴイ！！5年も耕作しないと大変！！

全員集合のはずが、疲れ果て約半数に！！

◆　◇　協議会からのお知らせ　◇　◆

『こんな耕作放棄地がありませんか？』

- ◆　対象農用地の周辺に耕作放棄地があり害虫の発生に苦慮している。
- ◆　協定農用地の中に耕作放棄地があるが対象農用地から除外している。

耕作放棄地対策にお困りの組織は、今年度から促進費で対応できるようになり、年間２０万円が交付されますので地域協議会などへご相談ください。

★今月の予定★

５日（木）	実施状況確認・指導（斐川町）	１６日（月）	実施状況確認・指導（飯南町）
１７日（火）	実施状況確認・指導（飯南町）	２４日（火）	実施状況確認・指導（奥出雲町）
２５日（水）	実施状況確認・指導（奥出雲町）		
末日	平成２０年度新規組織採択申請〆切		

全国土地改良大会島根大会
キャッチフレーズ募集中です！！

第 32 回全国土地改良大会が平成 21 年 10 月 28 日に島根県で開催されることになり、この全国大会の意義と全国に島根県をＰＲし、関心を持ってもらうために大会用キャッチフレーズを募集します。稲作文化の伝承と環境・食料への貢献を理念として、農地・水・環境を守り育む水土里ネットの役割や重要性と共に島根にふさわしい固有名詞または方言等を織り混ぜて、島根の農業農村の受け継がれたふるさとのすばらしさをアピールして下さい。

詳しくは、水土里ネットホームページにて。

応募方法：　ホームページより応募用紙を出力していただき記入事項全てにご記入の上、ご応募下さい。
応募作品の字数は１０字から３０字程度とします。（メール又はFAX も可）

募集期限：　平成２０年６月３０日（月）まで（当日消印有効）

賞　　品：　最優秀賞１点　賞金５０,０００円　　優秀賞３点　賞金　１０,０００円

応募問合せ：　水土里ネット島根　全国大会運営委員会　TEL0852-32-4141　FAX0852-24-0848

～　編 集 後 記　～

遂に船場吉兆廃業！賞味期限切れ販売、産地等偽装、使い回し発覚と老舗のモラルなどどこへやら・・・一心不乱に金儲けの一本道！高級料亭には縁がなくても外食が増えてきている現代社会。疑い出したらきりがないと同時に、食べ残しが大量にあるのが現実。日本は料理の約４分の１を食べないまま捨てているとか！外食産業では、もっと捨てているのでは！宴席で料理はあまり食べず、酒ばかり飲んでいる自分がいる・・・

豆腐一丁で酒を飲み、地域づくりを語り合った頃は食料自給率はおよそ６０％！（何十年前？）ガソリンも食料もまだまだ高くなる中だが、まだ取り戻せるかもしれない自給率、食のモラル・・・・地域ぐるみの取り組みで！！

～農地・水・環境保全向上対策に関することは！～

◆島根県農地・水・環境保全協議会まで
〔事務局〕水土里ネット島根　℡0852-32-4141　Fax0852-24-0848
http://www.shimanedoren.or.jp/arkadia/kai_set.htm

◆島根県農林水産部農村整備課資源保全スタッフ（共同活動）℡0852-22-6262
〃　農畜産振興課有機農業グループ（営農活動）℡0852-22-6477
http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/nougyo/kojo_taisaku/

◆又は県内各農林振興センター、最寄りの各市町村担当課までお問合せ下さい。